

名古屋能楽堂

五月定例公演

能・狂言が映す“時代” — 改元に寄せて —

乳母は姫のために舞う。政権争いの陰謀から守るため・・・

奈良時代の古代ロマン「中将姫伝説」に基づく能「雲雀山」。

乳母つながりの狂言「子盗人」とともに。

能「雲雀山」

狂言

能

シテ 佐藤 友彦
「子盗人」(和泉流)

シテ 玉井 博祐
「雲雀山」(宝生流)

2019年

5月19日(日)

14:00開演(13:30開場)

13:45より開演前ショート解説があります

指定席……………4,100円

自由席(一般)……3,100円

自由席(学生)……2,100円

※当日券は自由席のみ500円増となります。

3月15日(金)より
前売券発売

撮影:瀬野雅樹

ご来場の方に抽選で素敵なプレゼント!

本公演にご来場の方の中から抽選で10名様に能楽グッズをプレゼントします。

※ご入場の際にお配りするパンフレットに応募券【応募券の締切は休憩終了まで】が入っておりますのでご確認ください。

●イヤホンガイド 演能の解説が聞ける受信機を無料でお貸しします。(日本語/英語)
Noh performance Guide/Rent-free for a wireless headset(Japanese/English)

主催



公

財团法人

益

名古屋市文化振興事業団

[名古屋能楽堂]

公益社団法人 能楽協会 名古屋支部



◇開演前ショート解説..午後一時四十五分から午後二時
『雲雀山』について 衣斐 愛

狂言 子盗人 (和泉流)

シテ	アド	アド
子方	女	主人
ワキ	横佩右大臣	盜人
ワキツレ	横佩の家人	シテ
ワキツレ	従者	アド
アドアイ	鷹匠	アド
アドアイ	犬曳	シテ
勢子	従者	アド
ワキツレ	鷹匠	アド
オモアイ	鷹匠	アド
アドアイ	犬曳	シテ
アドアイ	勢子	アド

休憩十五分

能 雲雀山 (玉生流)

地謡	石津 片桐 能勢	智 節 幸 涉	内 山 衣斐 藤	佐 藤 和久 荘太郎	佐 藤 飛能
	片桐 田	幸 涉	衣斐 藤	和久 荘太郎	飛能
後見	小鼓 笠	笛	竹市 後藤 嘉津 幸	井 上 松次郎	正 宜 司
	大鼓		竹市 後藤 真之介	大橋 正樹	耕 司
			河村 真之介	橋 本 直	愛
				飯 片桐 井	
				橋 本 元	
				相 本 富	
				橋 本 桐	
				井 上	
				松 次郎	
				正 樹	
				直 夢	
				宰 敏	
				博 祐	

都合により出演者等が変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。

◆能雲雀山
【イヤホンガイド】

(午後四時頃終了予定)

日本語／中尾 薫(大阪大学大学院文学研究科准教授)
英語／佐藤 陽子(能楽イヤホンガイド名古屋准教授)

『例の手慰み』(=博奕)によつて散財した男は、裕福な旦那(有徳人)の家へ夜な夜な忍び込んで、金品を算段しようと企てます。苦労しながらも座敷へ侵入して茶道具や衣類などを物色していると、灯火の中に小袖に包まれた赤子を見つけて…。怖者が健気な赤子の情に心動かされ、盗みも忘れてあの手この手とあやす様が見どころで情景が目に浮かび上がります。また博奕に苦労した果てに何事か悪事を計画する演目は、狂言にも幾らか登場し、「仁王」や「金津地蔵」などにも見られ、懸命に時代を生き抜く当時の庶民生活の一端が伺えます。

横佩の右大臣(ワキ)は、ある者の譲(譲)言を信じ、雲雀山にて娘・中将姫(子方)を亡き者にするよう家人(ワキツレ)に命じました。哀れに思つた家人は、山中の庵に姫を隠しておきました。また、乳母の侍従(シテ)は里に出て花を売り、姫を養つていました。一方、豊成は鷹狩をするため、従者(ワキツレ)を伴い雲雀山に赴きます。そこに侍従が現れ、花を勧め、豊成の従者から請われるままに身の上の話をします。

時が過ぎ、侍従が姫の元に帰ろうとするとき、豊成が呼び止め、姫の命を取ろうとしたことへの後悔を述べます。侍従は、一度は姫は亡くなつたと言いますが、やがて父子を対面させます。再会を果たした豊成と姫は喜び、都へと帰るのでした。

シテ、侍従は後半、唐織を肩脱ぎする「狂女」の出立をしています。姫を思う侍従の心の表れでしょう。別れた我が子や恋人を思うがゆえに狂乱する、他の狂女物とは少し異なります。ドラマティックな背景よりも、姫を養うために懸命に花を売る侍従の姿、姫の身の上をいたわしく思う侍従の気持ちが折り込まれた謡や型、舞が前面に出た曲の構成になっています。

鷹狩の一コマを演じる間狂言も個性的で、見所の一つです。

能雲雀山のワキ・横佩の右大臣、藤原豊成は藤原不比等の孫。恵美押勝の別名で知られる藤原仲麻呂の兄にあたります。

能雲雀山の子方・中将姫の伝説が残る場所が二つあります。和歌山県有田市にある雲雀山(くもすみやま)と奈良県宇陀市にある日張山(ひさりやま)。云々おしゃかっ寺。謡の中では「大和紀の國の境なる」という説明があります。能雲雀山(たえすま)も中将姫を扱った曲です。この曲の舞台となつてゐる「當麻寺」(奈良県葛城市)の当麻曼陀羅は中将姫の作と言われています。中将姫はかぐや姫のモデルであるという説もあります。

(衣斐 愛)

◇能解説「雲雀山」(ひばりやま)

横佩の右大臣(ワキ)は、ある者の譲(譲)言を信じ、雲雀山にて娘・中将姫(子方)を亡き者にするよう家人(ワキツレ)に命じました。哀れに思つた家人は、山中の庵に姫を隠しておきました。また、乳母の侍従(シテ)は里に出て花を売り、姫を養つていました。一方、豊成は鷹狩をするため、従者(ワキツレ)を伴い雲雀山に赴きます。そこに侍従が現れ、花を勧め、豊成の従者から請われるままに身の上の話をします。

時が過ぎ、侍従が姫の元に帰ろうとするとき、豊成が呼び止め、姫の命を取ろうとしたことへの後悔を述べます。侍従は、一度は姫は亡くなつたと言いますが、やがて父子を対面させます。再会を果たした豊成と姫は喜び、都へと帰るのでした。

シテ、侍従は後半、唐織を肩脱ぎする「狂女」の出立をしています。姫を思う侍従の心の表れでしょう。別れた我が子や恋人を思うがゆえに狂乱する、他の狂女物とは少し異なります。ドラマティックな背景よりも、姫を養うために懸命に花を売る侍従の姿、姫の身の上をいたわしく思う侍従の気持ちが折り込まれた謡や型、舞が前面に出た曲の構成になっています。

能雲雀山のワキ・横佩の右大臣、藤原豊成は藤原不比等の孫。恵美押勝の別名で知られる藤原仲麻呂の兄にあたります。

能雲雀山(たえすま)も中将姫を扱った曲です。この曲の舞台となつてゐる「當麻寺」(奈良県葛城市)の当麻曼陀羅は中将姫の作と言われています。中将姫はかぐや姫のモデルであるという説もあります。

五月定例公演事前学習講座

4月27日(土) 14:00~15:30

[受講チケット] 五月定例公演とのセット券500円、一般券1,000円 ほか

◆能「雲雀山」のあらすじ、見どころを解説します。詳細は事前学習講座チラシをご覧ください。

チケット料金(税込み)

	指 定		自 由		
	Re s e r v e d	Non reserved plus ¥500, on the day	一 般	A d u l t	S t u d e n t u n d e r 25 y e a r s o l d
前 売 Advance sale	4,100円	3,100円	2,100円		

* 当日券は自由席のみ500円増となります。* 学生券は25歳以下を対象とします。

* 事業団友の会会員・障がい者手帳等をお持ちの方(付添者1名含む)は1割引(学生券をのぞく)
(名古屋能楽堂・事業団チケットガイド・事業団施設窓口のみ。各割引の併用はできません。)

* 上演中の写真撮影・ビデオ撮影・録音は、事前に許可を受けた方以外はご遠慮下さい。* 未就学児のご入場はお断りいたします。

前売券取扱所 Ticket Office

名古屋能楽堂 / TEL.052-231-0088 (チケット郵送可)

名古屋市文化振興事業団チケットガイド / TEL.052-249-9387

(平日9:00~17:00 / チケット郵送可)

* 名古屋市文化振興事業団が管理する文化施設窓口<土日祝日も営業>でもお求めいただけます。

(工事休館などがありますので、ホームページでご確認ください。)

券ブレチケ92 / TEL.052-953-0777

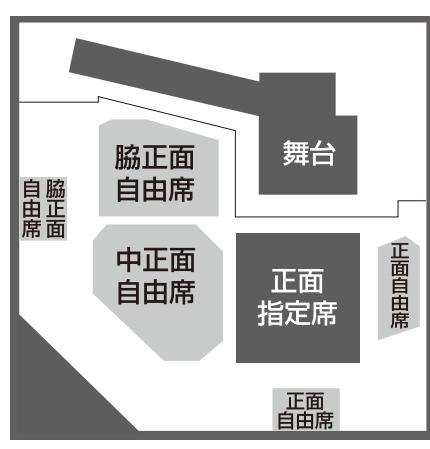
チケットぴあ / TEL.0570-02-9999 (Pコード492-840)

* お近くのセブンイレブン、サークルKサンクスでもお買い求めいただけます。

* 外国籍が証明できるパスポート等を持参された方には前売・当日とも1割引きします。(名古屋能楽堂取扱いのみ)

To visitors who bring their passports or the likes which prove respective foreign nationalities, advance/day tickets are available at a 10% discount. (at Nagoya Noh Theater only)

お問い合わせ / 名古屋能楽堂 TEL 052-231-0088 FAX 052-231-8756 http://www.bunka758.or.jp



公益財団法人 名古屋市文化振興事業団 TEL.052-249-9385

このチラシは、古紙パルプを含む再生紙を使用しています。